



水洗トイレ付ソーラーシステムハウス

“くつろぎ”



- ① 自己紹介
- ② 会社説明
- ③ 海外での取り組み
- ④ 商品説明
- ⑤ 災害支援
- ⑥ さいごに



① 自己紹介

高梨博幸 諸元

宮城県仙台市出身 現在は名取市在住

東北の震災を経験し、2018年にソーラー事業を行い、災害復興を支援するダイワテックに興味を持ち入社し、東北エリア6県を担当、営業活動を行っている。

好物は、ラーメン・味噌汁などの汁物を最後まで飲み干す悪い癖がある。

趣味は、家族そろってキャンピングカーで出かけること。

東北大震災時に、ダイワテックの商品があれば……との思いで日々奮起している。



② -1 会社説明

D+Daiwatech

◎ 株式会社ダイワテックは1982年に有限会社大和商工として創業、工事現場に必要な商材のレンタルを中心としていた。リーマンショックを機に取り掛かった新規商品開発の中で、自然エネルギーを活用した商品に着目し、太陽光エネルギーを利用したソーラー街路灯などを開発。そのような中、東日本大震災が発生し、**被災地支援活動を通じて、燃料・電力・通信手段の重要性や確保の難しさ**を痛感し、**日常時のみならず災害時にも活用できる自然エネルギー商品の開発に着手した。**

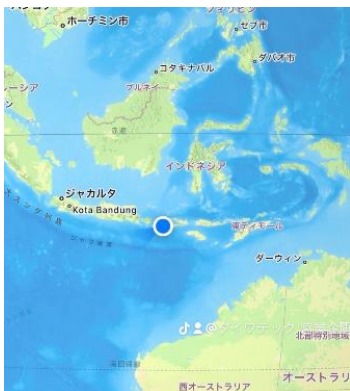
◎ 2011年にソーラーパネルを載せ、**独自の蓄電システムを備えたソーラーハウス**を完成させた。このハウスは**商用電源や燃料発電機を使用することなく**電気を使用することができるほか、**Wi-Fi通信機能を標準搭載**することで、通信機能を確保、発電状況や電力の使用状況の監視も可能となっている。

◎ ソーラーパネルを備えたハウスは他社にも存在するが、この通信機能・管理システムや高品質な蓄電池、十分な断熱材による良好な室内環境は当社特有の開発であり、商品価値を高めている。

◎ 全国70カ所の自治体と民間企業2社と災害協定を締結、北海道から沖縄まで**16カ所営業所のスケールメリットを活かした広域での災害対応**を行っています。要請があれば、自社ヤードは勿論の事、発災現場に近い**リース提供先建設業者様**と供に搬入を行います。



◎ 独立行政法人国際協力機構（JICA）のインドネシア国低所得者向け耐震ソーラーハウス案件化調査の委託を契機に日系企業プラント作業員宿舎を受注。インドネシア国の離島（スンバワ島）に2週間で、空調・バス・通信環境を備えた水洗トイレ付ソーラーシステムハウスを12棟設置しました。



◎ ダイワテックは、政府のウクライナ復興支援に伴い、ダイワテック商品を現地製造することによる雇用創成、並びにソーラーシステムハウスを戦火を逃れた人たちの仮設住宅や、インフラ復旧時ベースキャンプとして利用していただくための調査をウクライナや隣国で行っています。

③ 商品説明



水洗トイレ付
ソーラーシステムハウス“くつろぎ”
C-007ブースに展示中



サインージ付



ソーラーシステム
バイオトイレ
“やすらぎ”



- ・女性専用トイレとして、輪島市河井町設置
- ・二重接錠、前室の姿見にて、更衣室使用可



弊社トイレは
センサーで汲取り時期をお知らせします。



超節水型車載水洗トイレ せせらぎ



④-1 災害支援実績

- ①東日本大震災・・・南三陸町へソーラー街路灯寄贈
- ②熊本地震・・・南阿蘇町へソーラーハウス提供
- ③胆振東部地震・・・千歳市へソーラーハウス提供(充電スポットとして活躍)
- ④秋田豪雨・・・秋田市社会福祉協議会(ボランティア休憩所として提供)
- ⑤能登半島地震・・・計22棟のソーラーハウス等を提供 (充電ステーション・トイレ・宿泊施設として活躍)



①東日本大震災



②熊本地震



③胆振東部地震

④秋田豪雨



令和6年2月16日現在、
 ソーラーシステムハウス等22棟設置状況（撤去済含）

ソーラーシステムハウス → SSH



◎ 国土交通省道路局 <https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/pdf/guidelines-hv-containers.pdf>

～「道の駅」における高付加価値コンテナ活用ガイドラインを策定～

- ・ 「道の駅」の地方創生・観光を加速する拠点となることを目指す「第3ステージ」の取組に求められる平常時の地域活性化や、災害時の防災拠点としての役割に対し、移動式コンテナの活用が有効な手段として考えられることから、各「道の駅」設置者や民間主体がコンテナを活用するあたりの参考資料として策定された。
- ・ 能登半島地震支援にあたった移動式コンテナを調査、従来の活用方法を越えた新たな価値を付加し、平常時・災害時に有効活用できる空間としてのコンテナを高付加価値コンテナと定義。



弊社のソーラーシステムハウスも高付加価値コンテナとして掲載。



図 41 高付加価値コンテナの活用概況<令和6年2月14日時点>
※詳細は次ページ以降の表を参照

表 19 高付加価値コンテナの活用概況<令和6年2月14日時点> (1/2)

図上 No.	コンテナ機能	設置場所	設置時期	派遣元	
				公共	民間
1	トイレ	七尾市 田鶴浜地区コミュニティセンター	2024/01/02	○	
2	トイレ	七尾市立中島小学校	2024/01/03	○	
3	トイレ	市立輪島病院		○	
4	トイレ	能登町立能都中学校	2024/01/04	○	
5	トイレ	能登町立小木中学校		○	
6	トイレ	能登町立松波中学校		○	
7	トイレ	能登町立松波中学校		○	
8	トイレ	珠洲市立宝立小中学校	2024/01/05		○
9	トイレ	珠洲市緑丘中学校			○
10	トイレ	輪島市立鳳至小学校		○	
11	ソーラー発電	能登町 内浦総合支所	2024/01/06		○
12	医療・診療	穴水町 穴水総合病院	2024/01/08		○



図 45 ソーラーハウスコンテナ外観・内観
(能登町内浦総合支所)



図 30 外壁へデジタルサイネージを設置したコンテナ

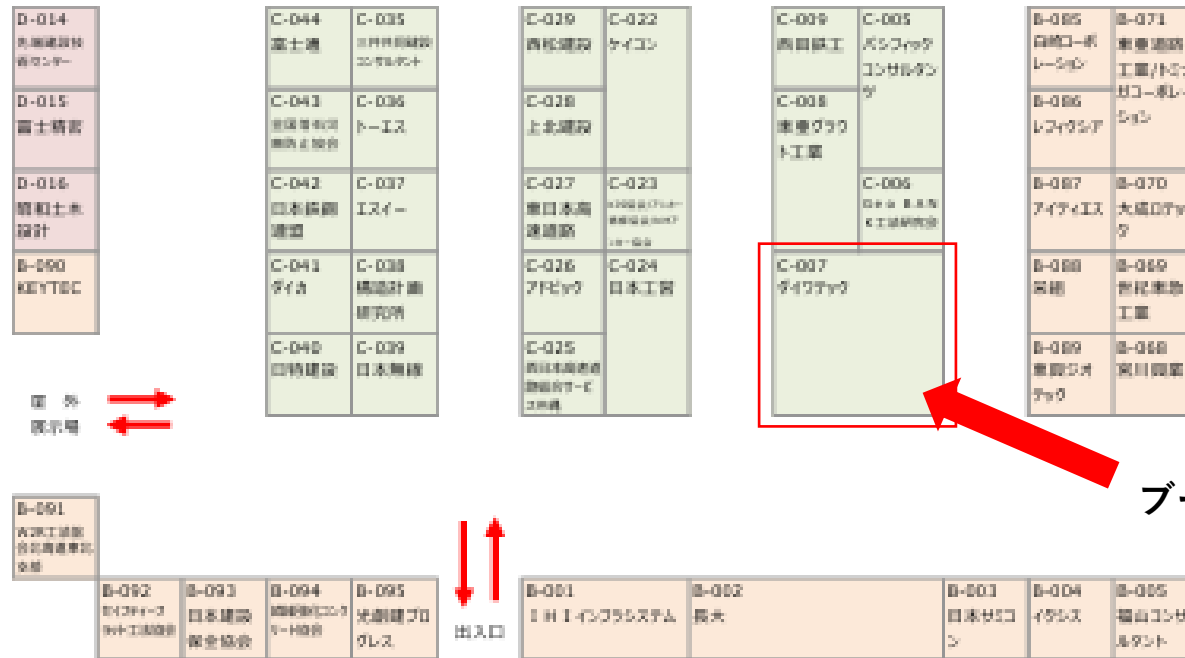
令和6年4月23日に岸田総理大臣列席の元、東京・イイノホールで開催された第10回「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」授賞式にてダイワテックは（一社）レジリエンスジャパン推進協議会*様から「フェイズフリー商品の活用による地域防災力向上の試み」で優秀賞を頂きました。

*国土強靱化担当大臣私的諮問機関「ナショナル・レジリエンス懇談会」の結果を踏まえ、「国土強靱化基本計画」が円滑に達成されるよう、産、学、官、民のオールジャパンで叡智を結集、非常時のみならず平時での戦略的活用の方策を創造することにより、公共投資、民間投資が最大限に相乗効果を発揮し、レジリエンス立国を構築していくことを目的として設立されました。



⑥ さいごに

- 今回ご説明した、くつろぎは、C007ブースにて実物を展示しております。
- ぜひ、ブースへお越しの上、実物をご覧ください。



- QRコードに弊社の商品一覧がございます。お気軽にお問い合わせください。



ご清聴ありがとうございました

